

新聞読んだ考えた

2026年6月12日付22面／「石と色彩、光の傑作」サグラダ・ファミリア主塔完成 教皇が記念ミサ スペインの世界遺産サグラダ・ファミリア教会で、高さ172.5mの主塔「イエス・キリストの塔」が完成した。建築家のアントニ・ガウディ没後100年の命日に当たる6月10日に、記念ミサを行った。

八戸学院光星高校1年 きねぶち か お 杵渕 花音さん

新聞の「サグラダ・ファミリア主塔完成」という見出しを目にしたとき、喜びと同時に衝撃を感じた。私は、中学1年の道徳の授業でサグラダ・ファミリアの存在を知った。当時は完成するまでまだ数十年かかるといわれていたため、予想以上に早く工事が進んでいると感じた。



伝統の形はさまざま

サグラダ・ファミリアの建設は140年以上続いている。その過程で、設計者であるアントニ・ガウディの思いや願いが長い年月を経て現代まで受け継が

れ、多くの人の心を動かしていることに心を打たれた。
この記事を通して、伝統は、祭りや料理だけでなく、さまざまな形で受け継がれてゆくものなのだと感じた。私は八戸えんぶりに参加している。伝統芸能の継承者として、えんぶりの良さを広め、つないでいきたいと思う。

「新聞読んだ考えた」投稿規定

- | | |
|------|---|
| 対象 | 小学生～大学生 |
| 送付物 | ①選んだ記事の要約(100字以内)
②感想文(400字以内)
③顔写真 ④応募者情報
※専用応募用紙あり |
| 応募方法 | 郵送、メール、投稿フォームのいずれか |
| 謝礼 | 記事ラミネート、図書カード1000円 |

応募・問い合わせ先

東奥日報社
販売局NIE・NIB推進部
〒030-0180
青森市第二問屋町3-1-89
電話 017-739-1106 (平日9～17時)



詳しくはこちら

メール nie3189@toonippo.co.jp

※投稿後、担当者が感想文の内容を確認して連絡します。また、趣旨を変えないように記事の修正をする場合があります